

# 輪

新潟大学附属特別支援学校  
学校便り 第528号  
令和8年4月9日発行



## 安心感をもって挑戦できる学校を目指して

校長 大谷 誠

前庭の桜のつぼみも膨らみ始め、新しい季節の訪れを感じる頃となりました。お子さんの御入学、御進級、誠におめでとうございます。今年度は、全校児童生徒62人でのスタートです。子供たち一人一人が夢や希望をたくさん持って良い1年のスタートを切れるように教職員一丸となって支援していきます。

当校の教育目標は目指す子供たちの3つの姿を表しており、私は子供たちに分かりやすく言い換えをして以下のように伝えています。

教育目標	………	言い換えて、子供たちに伝えていること
○やさしく思いやりのある子	⇒	<b>「楽しい学校にしましょう」</b> まずは自分を大切に、また自分と同じくらい友達も大切にして、いじめを許さない、安心して過ごせる学校にしましょう。
○進んでやろうとする子	} ⇒	<b>「夢や希望に向かって挑戦しましょう」</b> 夢や希望を膨らませて目標を持ち、挑戦することです。失敗は成功のもと。失敗を恐れず、挑戦を大切に毎日張り切って学校に来てほしいです。
○元気で丈夫な子		

夢は、決して壮大なものである必要はなく、また「将来何になりたいか」を急いで探す必要もありません。「一人で買い物に行けるようになりたい」「大好きな絵で誰かを笑顔にしたい」。そんな身近な希望が、子供たちの「自立したい」という意欲を支えると考えています。

まずは子供たちの今の気持ちに寄り添い、小さな「楽しい」や「心地よい」という感情を積み重ねながら自己肯定感を育み、やがて未来を照らす確かな「夢の種」へとつなげていきたいと思えます。そのために、「ここでは失敗しても笑われない」「ありのままの自分でいても、先生や友達に認めてもらえる」という、確かな安心感が必要です。それがあって初めて、子供たちは新しいことに「やってみよう！」と一歩を踏み出すことができます。学校経営の柱として大切にしたいのは、「失敗を怖がらなくていい、心の安らぎ」を守ることです。

教職員一同、お子さん一人一人の可能性を誰よりも信じ、失敗を恐れずに毎日張り切って登校できる「楽しい学校」を、保護者の皆様と共に創り上げて参りたいと思えます。今年度も、本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。